

アンケート調査等の実施について

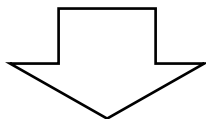
資料の構成

- 資料 1－1 網形成計画の位置づけと調査の方向性
- 資料 1－2 今年度調査項目（案）
- 資料 1－3 住民アンケート調査票（案）
- 資料 1－4 これまでの施策レビュー方針（案）

資料 1－1 網形成計画の位置づけと調査の方向性

「飯能市地域公共交通基本計画」（平成 25 年度）

- ・ 市民の移動手段の確保に向けた施策を推進するための基本計画
- ・ 平成 26 年度～平成 35 年度 10 年間



策定から 4 年経過した基本計画の見直しを行い、発展的に網形成計画に移行させていく

「飯能市地域公共交通網形成計画（仮称）」（平成 29 年度）

- ・ 公共交通施策としては、基本計画に位置づけた施策を基本とする。
- ・ 目指していく公共交通ネットワークの考え方と、ネットワークの実現に向けた取組方針を示す。
- ・ 国際興業株式会社との協定期間（平成 32 年 3 月まで）後においても、公共交通ネットワークが維持・確保されるよう、必要な取組を位置づけていく。
- ・ 平成 30 年度～平成 34 年度 5 年間

網形成策定に向けた調査の方向性

ベースとなる取り組み姿勢

基本計画の方針 まもる・育てる・つくる



網形成計画の基本方針（案）

- ・「おでかけ」の目的地から端末までの階層的な公共交通網の考え方を示す
- ・軸を維持するための利用促進の取組を位置づける、実施体制を構築する
- ・端末交通のあり方を地区主体で選択し、運行する仕組みを具体化する

軸＝現在の民間バス路線＋鉄道路線

端末交通＝駅やバス停から自宅までの交通、まちなかの回遊性を高めるための交通



網形成計画策定に向けて必要な調査等

- ・移動実態（居住者・観光客、顕在需要・潜在需要）を把握するための調査
- ・地区別の端末交通確保に向けた取組内容に関する意見交換
- ・軸の維持に向けたバス事業者、鉄道事業者との連携強化のための意見交換
- ・地区での取組の検討や実施、関係者の提案や工夫を後押しする制度構築
- ・これまでの取組の評価と今後の方向性・目標の設定

上記を踏まえた調査の方向性

移動実態の把握	住民／バス利用者／観光客アンケート
地区別の取組検討	地区懇談会経由での住民へのグループインタビュー
	地区で実施するアンケートの分析
事業者との連携強化	事業者のデータ分析（乗車密度、キロあたり収支）
	事業者へのヒアリング
	沿道の協力施設へのヒアリング

資料 1-2 今年度調査項目 (案)

調査目的	調査によって把握する内容	
1. 飯能市地域公共交通基本計画の事業実績の整理	【資料整理】 ・これまでの <u>公共交通に関する取組状況</u>	
2. 地域公共交通に関連するデータ整理	【データ整理】 ・バス、鉄道、タクシーに関するサービス実態および <u>利用実態、公的負担の状況</u> ・民間路線以外に、福祉・教育関連の交通についても同様に、上記の情報を整理 ・これまでの取組についての <u>費用と効果</u> を整理	
3. 公共交通事業者の意見、課題、ニーズ	【ヒアリング】 ・交通事業者側の <u>課題認識やニーズ</u> を把握 ・交通事業者から見た公共交通の <u>利用者層</u> を把握	
4. 住民移動の実態及びニーズ調査	地域住民	【アンケート調査】 ・移動に課題を抱えている方に対して、 <u>公共交通の利用頻度や利用目的、利用理由、満足度、利用しない人の理由</u> などを把握
	来訪者	【アンケート調査】 ・ <u>観光客を対象に、属性や主な移動手段、来訪者が抱えている課題やニーズ</u> を把握
5. 取組への協力可能性調査	拠点施設	【ヒアリング】 ・バス利用者の利便性向上に向けて、 <u>連携して実施できそうな取組</u> についての意見交換を実施
6. 公共交通機関利用者の移動実態調査	バス利用者	【アンケート調査】 ・バス利用者が <u>どの区間</u> を利用しているかを把握 (バス利用の目的や利用者のニーズや不満等の調査を対象とする)
7. 地区での取組に対する調査	地域住民	【地区で実施する調査との連携】 ・ <u>地区で独自に実施している調査・検討・評価の実施結果</u> を把握 (協力して実施)
		【インタビュー調査】 ・ <u>地域の移動を改善するための方策</u> に関する住民意向を把握 ・ <u>地域で選択・運営する公共交通サービス</u> に関して、サービスを受ける側、提供する側としての意向を把握